

平成 30 年 6 月 5 日

各大学長
各大学理学部長
各大学工学部長 殿
各大学理工学部長
各関係機関長

弘前大学教育研究院自然科学系長
佐々木 長市
(公印省略)

有機・無機材料創成及び機能開拓分野助教の公募について（依頼）

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学系機能創成科学領域では、下記要領により有機・無機材料創成及び機能開拓分野助教を公募することになりました。つきましては、関係各位に周知下さいますようお願い申し上げます。

なお、本件は、本学ホームページの教員公募情報 (http://www.hirosaki-u.ac.jp/employment_information.html) にも掲載しております。

記

1. 募集人員 助教 1 名（任期なし）
2. 所 属 自然科学系 機能創成科学領域
3. 専任担当 理工学研究科（物質創成化学科併任）
4. 専門分野 有機・無機材料創成及び機能開拓
（分析化学分野の教育を担当でき、有機・無機材料創成及び機能開拓に意欲的に取り組み、学科内教員と連携し熱意を持って教育・研究を進め、地域社会への貢献を積極的に行って頂ける方）
5. 担当科目 理工学部： 物質創成化学科における化学系専門科目（分析化学）、化学系専門実験、科学英語、全教員担当の科目など
理工学研究科：博士前期課程物質創成化学コースの専門科目及び専攻内共通科目など
教養教育科目：自然・科学科目群など
6. 応募資格
 - (1) 博士の学位を有する方または着任時までに博士の学位を取得見込みの方
 - (2) 上記の科目を担当できる方
7. 着任時期 平成 31 年 1 月 1 日以降のできるだけ早い時期
8. 選考方法
 - (1) 書類選考
 - (2) 候補者による発表（これまでの研究と今後の教育研究・社会貢献について）と模擬講義
 - (3) 面接
9. 提出書類
 - (1) 履歴書（高等学校卒業以降の履歴を記載したもの、写真貼付）
 - (2) 研究業績リスト [査読付学術論文、総説または解説、著書、国際学会発表、招待講演（国内外）、国内・外国特許（特許公開番号、登録されていれば特許番号）、受賞に分類して年代の古いものから順に、題目、単著・共著の別、発行年/発表年、発行所や発表雑誌または発

表会議の名称、著者名（本人を含む全員、責任著者に*印）等を記載してください。]

- (3) 主要論文の別刷またはコピー（5編）
- (4) 外部資金獲得状況（外部資金の種類、名称、金額、代表者/分担者の別）
- (5) これまでの教育・研究および社会貢献の概要（A4判2～3枚程度）
- (6) 今後の教育・研究および社会貢献に関する抱負と計画（A4判2～3枚程度）
- (7) 応募者に関する参考意見を伺える方2名の氏名と連絡先（氏名、所属、役職、連絡先所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）
- (8) 応募者の連絡先

10. 応募期限 平成30年9月28日（金）（必着）

11. 書類提出先

〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地

弘前大学大学院理工学研究科 総務グループ（総務担当） 宛

※封筒に「教員応募書類（有機・無機材料創成及び機能開拓分野助教）」と朱書きし、簡易書留、レターパック、EMS、その他法令で認められる送付方法により、送付記録の残る方法で送付して下さい。

12. 問い合わせ先

〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地

弘前大学大学院理工学研究科 総務グループ（総務担当）

電話：（0172）39-3503、ファクス：（0172）39-3513、メール：jm3505@hirosaki-u.ac.jp

備考

- (1) 弘前大学は、全学的な教員組織として「教育研究院」を設置しています。教員は「教育研究院」に置かれるいずれかの学系に所属し、教育研究組織である学部、大学院研究科、附属病院などの専任担当として教育、研究、診療等の業務に従事することとなります。なお、必要に応じて他の教育研究組織の教育や業務、あるいは教員養成部門における教育を担当していただく場合があります。
- (2) 面接の際の旅費は応募者の負担とします。
- (3) 応募書類は原則として返却いたしません。
- (4) 採用後の給与については、弘前大学規定による年俸制が適用されます。
- (5) 弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には女性を優先的に採用します。面接時の交通費支援を含む支援策については、男女共同参画推進室ホームページ（<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>）をご覧ください。

以上